

平成 27 年（1 月～2 月末）の労働災害発生状況について

1 労働災害発生状況

(1) 概況

ア 前年同期との比較

	平成 26 年 2 月末	平成 27 年 2 月末	増減 (率)
死亡災害 (人)	142	113	-29 (-20.4%)
死傷災害 (人)	11,243	10,353	-890 (-7.9%)
重大災害 (件)	23	27	4 (17.4%)

イ 先月末との比較

	平成 27 年 1 月末	平成 27 年 2 月末	対前年増減率の推移
死亡災害 (人)	51	113	-25.0% → -20.4%
死傷災害 (人)	3,715	10,353	-0.4% → -7.9%
重大災害 (件)	10	27	233.3% → 17.4%

ウ 近年の同月との比較 (2 月 (1 ヶ月間に登録されたもの) の労働災害件数の経年推移)

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
死亡災害 (人)	53	74	62
死傷災害 (人)	7,018	7,513	6,638
重大災害 (件)	12	20	17

(注：平成 27 年 3 月 7 日までに入力した速報値である。)

(出典：死亡災害報告、労働者死傷病報告、重大災害報告)

(2) 死亡災害

ア 業種別発生状況

建設業 (38 人)、第三次産業 (22 人)、製造業 (20 人)、陸上貨物運送事業 (13 人) の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故（道路）」（32人）、「墜落・転落」（26人）、「はさまれ・巻き込まれ」（21人）の順で多く発生している。

（3）死傷災害（休業4日以上）

ア 業種別発生状況

第三次産業（4,225人）、製造業（2,481人）、建設業（1,514人）、陸上貨物運送事業（1,311人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「転倒」（2,762人）、「墜落・転落」（1,900人）、「はさまれ・巻き込まれ」（1,395人）の順で多く発生している。

（4）重大災害（一時に3人以上の死傷者を伴う災害）

ア 業種別発生状況

建設業（11件）、第三次産業を中心としたその他の事業（8件）、製造業（4件）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故」（15件）、「中毒・薬傷」（4件）、「その他」（3件）、「火炎高熱物」（2件）の順で多く発生している。